

2009 年度秋学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	社会	学科
担当科目	「社会統計学」と「情報社会学」		

<秋学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

私は「社会統計学」と「情報社会学」の2つの教科のチューターを行いました。「情報社会学」は途中からの参加でした。

「社会統計学」は、春学期から引き続き同じ内容で、授業前のプリント印刷、配布、回収、授業中や授業後の質問対応、宿題プリントの採点などを行いました。春学期も行った内容ということもあって、比較的行いやすかったです。春学期には、授業中の質問対応時に自分から話しかけて進行状況を見る等の行動が、なかなかできなかつたという反省点がありました。しかし、今回はその反省点を活かし、自分から話しかけ進行状況を確認するなどの行動をとることができました。今回は受講者も少なかつたため、その分授業中の巡回は行いやすかったです。しかし、本来授業開始の10～20分前には講師控室に到着していることが望ましかつたのですが、今回は1限の時間の授業ということもあって、なかなかその時間に到着できなかつたところが反省点です。

「情報社会学」は、授業前のレジュメ印刷、配布、回収、カギの返却、授業でのディスカッションの際の巡回、出欠入力などを主に行いました。途中から行い始めたため、最初はとまどいもありましたが、担当の先生がゼミの先生であつたため、連絡もとりやすくすぐに慣れることができました。ディスカッションの際の巡回は、少し答えにくいものもありましたが、やはり一度受講している授業なので、前年のことを思い出しながら行うことができました。「情報社会学」は、行うことも比較的多かつたのですが、その分充実していたように思います。最初の回に、受講生の行っていく課題を予め私の方でも準備していったのですが、そうすることで私自身が気づいたり学んだりすることが多くありました。反省点としては、1度、カギを返却するのを忘れ、持って帰ってしまったことがあげられます。また、出欠入力をためてしまい、最後の方でいっきに入力しなければならなかつたので、毎回1回分ずつ入力していけば良かつたと思います。

今回もこの2つの教科のチューターを通して、私自身が多くを学ばせていただきました。今学期は、春学期の反省点を活かし、「自分から積極的に行動する」ということが、春学期よりもできたのではないかと思います。来年また行う機会があれば、今学期の反省点を活かして行っていきたいと思ひます。

<今後のチューターまたは先生への提案>
